中間市社会福祉協議会「今」の福祉を伝える広報誌

なかまの風だより

令和4年
12月10日発行
NO.104

目次

P1～3	特集「みんな仲間」
P4	社会福祉大会・社会福祉協議会会長表彰
P5	社会福祉大会出店・記念品協力団体紹介
P6～7	なかまの風だより塾報告
P8	赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金
P9	クロスワードパズル
P10	フードドライブ寄付者紹介・お礼
P11	フードパントリー開催報告、開催のお知らせ
P12	社協事業紹介
P13	楽10体操®教室報告・楽10体操®教室のお知らせ
P14	専門相談、在宅介護者の集い報告、寄付のお礼

共同募金は、この広報誌発行
にも役立てられています。

社会福祉法人 中間市社会福祉協議会 〒809-0018 中間市通谷一丁目36番10号 ハピネスなかま内
ホームページ http://nakama-syakyou.jp/ TEL 244-1230 FAX 244-1232

特集

笑顔づくり×まちづくり
スマイルわーかー発見隊

みんな仲間

障がい福祉サービスの中に、一般就労をすることが困難な障がいのある方が、軽作業を通して就労訓練をする「就労継続支援B型」というサービスがあります。

今回は、中間市で就労継続支援B型「ほのぼのファクトリーファーム」を運営する、社会福祉法人みんなの家会理事長の鞘師（さやし）めぐみさんにお話を伺いました。

社会福祉法人 みんなの家会
理事長 鞘師（さやし） めぐみ氏

―ほのぼのファクトリーファーム（以下ファクトリーファーム）を始めたきっかけを教えてください。

ファクトリーファームは元々、「中間福祉作業所」という障がい者通所施設でした。平成21年、中間福祉作業所の理事長が体調を崩された時に後任の相談がありました。当時は、平成11年に立ち上げたNPO法人みんなの家会で宅老所などを運営していました。障がい者分野は私の中で本当に携わりのない分野だったので、とても戸惑いがありましたが、「やれるかな、役に立てるかな」という気持ちで受けさせてもらいました。名称も利用者さんと一緒に考え、「ほのぼのファクトリーファーム」と命名しました。3年前からファクトリーファームの管理者として現場に出ています。

―日々どのような活動をしていますか。

利用者さん一人ひとりの強みを生かした活動をしています。目指すところは「楽しく集える作業所」。とにかく出てこないことには何も始まらない。出てくるからには楽しくないと、と伝えています。そこから自分の強みを生かした作業ができればいいなと思っています。

外作業班

手芸班

今年4月からの試みですが、それぞれの強みを生かすために、作業を内職班、手芸班、外作業班と3班に分けました。内職班は、主にトヨタの下請け作業等をしています。手芸班は、高齢者施設の敬老会のプレゼントを製作したり、作品を即売所に置かせてもらったり、イベントなどで出店したりしています。外作業班は農作業を行っています。うまく実らないことも多々ありますが、そんな失敗も成功の元です。リサイクル活動として廃品回収もしています。不要になった家電を解体、分解し、鉄として引き取ってもらうことで、利用者さんの工賃となります。ご近所の方も持ってきてくださるので、とてもありがたいです。私たちがこうやって活動できるのは、地域の方々が理解して見守ってくださっているからだと感謝しています。

大きなことはできませんが、小さなことをコツコツとみんなで取り組むことが楽しいです。

―利用者さんについて教えてください。

現在、18名の方が毎日通っています。中間市の方が中心ですが、水巻町、八幡西区などからも送迎を利用して来られています。障がい種別としては精神障がい、知的障がいの方が主です。以前はそれぞれの障がい特性の違いからぶつかることもありましたが、今はみんながお互いを認め合い、居心地のよい場の空気を作ってくれます。

先々の不安に備える伴走型支援

今はいいのですが5年、10年後、親亡き後など利用者さんの先々の生活を考えると不安です。法人内に障がい者のグループホームはありません。本人や家族の日常生活上の相談に応じる相談支援専門員がついていない利用者さんもいます。そうなると、ファクトリーファームと家族と本人との世界だけになるので、生活のことを何でも相談でき、本人と家族に寄り添い支えてくれる相談員をつけることをお勧めしています。

内職班

また、利用者さんは自分の障がいと上手に付き合いながら一般就労したいという思いはありますが、自分に自信がない方が多いです。中にはずっと引きこもっていた方もいましたが、最近では毎日通えるようになりました。今では次の目標に向かって自分で考えて行動して、すごいなと思います。何か心の中で響くものがあったのだと思います。それは私たちが与えるものではなくて、利用者さん自身の気づきなので、ファクトリーファームでは「何があっても安心」というものが利用者さんに提供できたらうれしいねと職員間で話しています。

私は「伴走者」という言葉が大好きです。してあげるわけでもなく、させていただくわけでもなく、共に過ごす仲間です。共に過ごす仲間も「12色の色鉛筆」で、その人その人に持ち味があって、人の毛並みを見ることではなく、チームとしてやれるような仲間がいいなと思っています。私たち職員はみんなが迷わないように段取りをするだけです。

―最後に、この仕事のやりがいや喜びを教えてください。

お話したこと全てです。ここでは利用者さんの変化を日々感じることができます。ここがみんなの居場所、みんなの家になってくれたらありがたいです。みんな仲間です。

ほのぼのファクトリーファーム

住　所　中間市中央５丁目 10-17
電　話　２４６－４８６８
開所日　月～金（土日も時々開いています）

見学・体験はお気軽にお電話ください！

みんなの家
みんなの居場所

第16回 社会福祉大会を開催しました

10月8日（土）に、なかまハーモニーホールにおいて「第16回社会福祉大会」を開催しました。

式典に引き続き、永年にわたり社会福祉の向上にご尽力されている民生委員・児童委員、社会福祉施設などの役員の方々や、社会福祉事業にご協力いただいた地域の企業・団体・施設等に対し、表彰状又は感謝状をお贈りしました。表彰後の第17回なかまの風だより塾では、子どもの貧困をテーマに筑紫女学園大学准教授の大西良氏を講師に招き基調講演を行いました。

３年ぶりに有観客での開催となり、参加者の皆様のおかげで盛会のうちに終えることができました。

中間市社会福祉協議会 会長表彰受賞者

第16回社会福祉大会にて、中間市の福祉の向上に寄与された個人・団体の方々に対し、中間市社会福祉協議会会長表彰を行いました。地域の福祉を支え、中間市の福祉推進にご尽力いただきました皆さまに、敬意を表し心よりおよろこび申し上げます。

表 彰 状

（敬称略・順不同）

社会福祉団体役員表彰

（社会福祉施設又は団体の役員等として10年以上従事し功労顕著なもの）

青木（あおき） 勝弘（かつひろ）（中間市身体障害者福祉協会）
森崎（もりさき） 由美子（ゆみこ）（中間市婦人会）
吉富（よしとみ） 廣（ひろし）（中間市老人クラブ連合会）

社会福祉活動者表彰

（個人として社会福祉活動を開始後10年以上経過し、その活動がきわめて優良であるもの）

大石（おおいし） 勝代（かつよ）（中間市婦人会）
森（もり） 澤江（さわえ）（中間市婦人会）
中村（なかむら） 和子（かずこ）（垣生ふれあいサロン笑桜会）

感 謝 状

（敬称略・順不同）

社会福祉事業協力表彰

（社会福祉活動を5年以上継続している企業等で功績顕著なもの）

中間ライオンズクラブ
中間市母子寡婦福祉会
社会福祉法人 なのみ一枝会
有限会社 ことぶきタクシー
希望が丘高等学校生徒会執行部
オッペン化粧品株式会社エステハウスなかま
介護老人保健施設 千寿中間
浄土真宗本願寺派 恩光寺
中間市松ケ岡デイサービスセンター
社会福祉法人 東筑紫会 特別養護老人ホーム第2智美園
中間市婦人会
宗教法人 惣社宮

高額寄附者表彰

（中間市社会福祉協議会に、10万円以上寄附をしたもの）

田中（たなか） 耕造（こうぞう）
冷牟田（ひやむた） 絹代（きぬよ）

会場入口で福祉事業所の授産品の販売を行いました！

出店コーナー

北九州高等学園

多機能型就労継続支援事業所
いなほ

障がい者支援施設
なのみ園

アイリー

ご協力くださったみなさま、ありがとうございました！

来場者に記念品をお配りしました！

記念品協力団体

障がい福祉サービス事業所
仲間園

わくわくハッピー

アイリー

ほのぼの
ファクトリーファーム

北九州高等学園

present

～地域で寄り添いあうために、私たちにできること～

講師　大西　良（りょう）氏

筑紫女学園大学　人間科学部人間科学科　心理・社会福祉専攻　准教授である大西良氏にご講演いただきました。

大学に勤務されるかたわら、小中学校でスクールカウンセラーとして相談援助や、公園や駅周辺で夜回り活動を通して女性の声を聴く活動を行っています。また、表面化しづらい「子どもの貧困」から見えてくる背景の問題にも目を向けながら、子ども食堂や 10 代ママの居場所づくり等幅広くご活躍されています。さまざまな視点から子ども達を見ているからこそ感じることや必要なこと、大切なこと等を分かりやすくお話ししていただきました。

1. コロナ禍における子ども･若者の現状

近年、スクールカウンセラーに多く寄せられる相談

① **メディア依存**…「YouTube を見ている時が一番楽しい」「ゲームで発散している」
→そこを自分の居場所にしている。自分が認められている場所になっている。
その子から、メディア（ゲーム）を奪うこと＝居場所を奪うことになる。

◆依存先を失くすことではなく、逆に**依存先を増やす**ことが大切

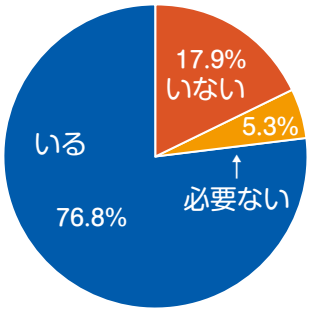
② **睡眠不調**…なかなか眠れない、昼夜逆転の生活
→臨時休校で欠席や不登校、睡眠時間帯のずれ、寝ない子が増えている。
心の健康状態にも大きく影響している。

③ **自傷行為**…リストカット、過剰服薬、抜毛、壁を殴る　など
→抑うつ気分（前向きになれない、楽しいと感じられない等）が強くなっている子どもや、
自傷行為や自殺企図を呈する子どもが増加。

公園や駅周辺での夜回り活動を通して・・・

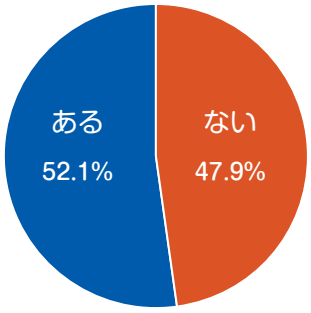
女性の声を聴いたり、相談窓口が記載されたカードの配布をしています。
その中で、アンケート調査も行っています。

Q. 悩みなど相談できる相手はいますか？



４人に１人は
「いない」「必要ない」

Q.「生きづらい」「死にたい」と思うことがありましたか？



「ある」が半数以上

◆夜の公園や駅周辺には、繋がりや居場所を求めている人が多く、**安心して自分のことを相談できる人や場所**が求められていると感じている。

基調講演

「見えない子どもの貧困」を考える

2.「子どもの貧困」の本質的課題とは?

貧困には、絶対的貧困（見える貧困）と相対的貧困（見えにくい貧困）の捉え方がある。

◆日本の貧困は、見えにくい貧困で問題視されている。

・日本の子どもの貧困率（18歳未満の子がいる世帯）は、7人に1人。
→実は、大人の貧困率が影響している。

・ひとり親世帯(特に母子世帯)の貧困率は、先進国34カ国中ワースト1位。
→就業率は高い一方で、非正規雇用の割合も高く、女性の雇用環境や賃金問題が背景にある。

・さまざまな不利の連鎖に影響する。
→デンタルネグレクト(口腔崩壊)もその1つ。
仕事や生活に余裕がなく、保護者による適切な歯科的健康管理がなされていない状況。

「子どもの貧困白書」
明石書店　2009 を参考に作成

3. 子どもたちにあたたかいつながりを　～お腹と心を満たす「子ども食堂」の取り組み～

子ども食堂ってどんなところ?

・親子で参加できる地域の居場所
・子どもや高齢者をはじめ、地域みんなの憩いの場
・バランスの取れた食事の大切さを伝える場

◆子ども食堂の目的は、物資を届けること、心を届けること＝**つながること**
→孤立・孤独の予防=「助けて」と言える社会づくり

4. おわりに

◆**子どもの貧困**→家庭・世帯の貧困→大人の貧困→雇用・賃金の貧困→**社会の問題・みんなの問題**
◆貧困の最大の敵（課題）は、「**社会の無関心**」。貧困問題は根深く、複雑多様。
だからこそ、貧困問題に「**関心をもつ**」ことが大切であり、一人ひとりの問題意識が貧困を解決する力になる。

社会福祉大会の内容を収録した DVD 及び BD を貸出しています！

ふれあい・いきいきサロン団体、地域の福祉団体、市内在住の方向けに、
福祉大会の内容を収録したＤＶＤ及び BD（ブルーレイ）をご用意しています。
貸出しには事前に申請が必要です。
詳細についてはお問合せください。　☎ 244-1230

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障がいがある方、子どもたちなどに対するさまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」です。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響は続いていますが、赤い羽根共同募金は地域の人と人とがつながることをあきらめず、孤立、孤独の問題に対して取り組む活動を応援していきます。

募金期間 令和４年10月1日(土)～１２月３１日(土)

・・・・・ 街頭募金運動を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました ・・・・・

「メガセンタートライアル中間店」、「新鮮市場さくら館」、「にしてつストアレガネット中間」、「グッデイ中間店」、「ホームプラザナフコ中間店」、「クリエートタウン前」にて募金活動を実施しました。ご協力いただきました貴店や地域の皆さま、誠にありがとうございました。

歳末たすけあい募金

新たな年を迎える時期に、支援を必要としている方々が安心して暮らすことができるように実施している募金活動です。同じ地域で暮らす支援の必要な方や地域福祉の活動に大切に活用させていただきます。

障がい児･者施設の歳末福祉行事に

生活に困窮している世帯へ食料や日用品を無償提供する事業に

子どもから高齢者へ年賀状を送る心の交流に

福岡県共同募金会から活動用車両の配分を受けました

社会福祉法人福岡県共同募金会より、社協が取り組む生活困窮者支援のためのアウトリーチ用車両購入の配分を受けました。

頭の体操

クロスワードパズルを解いてプレゼントをGET！

タテとヨコのかぎをヒントに、クロスワードを完成させてください。
AからEをつないでできた言葉が答えです！

1	2 B	3	■	4 D	5	6	
7			8 A				■
	■	9				■	10
11	12		■	13			
■	C	■	14			■	
15		16		■	17	22	
	■		■	18		E	■
19		■	20		■	21	

答え

A	B	C	D	E

ヨコのかぎ

1.郵便物を入れる赤い箱
4.おはようございます・こんにちは・こんばんは
7.島根県の縁結びの神様として名高い場所
9.おでんの人気野菜
11.北海道南東部の地名。冬に晴天が続くと○○○晴れとも呼ばれる
13.腕を鍛えるトレーニング
14.収穫量が全国1位の和歌山県のくだもの
15.一年の終わりごろに行われる安売り「○○○○セール」
17.皮をはぎ、削っただけで、何も塗ってない木
18.進級や卒業するために必要なもの
19.初夢で見ると縁起が良いとされる第一位
20.情熱の色の象徴
21.おもちゃを英語で言うと

タテのかぎ

1.買い物をすると貯まるお得なもの
2.登山などでクマよけに使われる楽器
3.一緒に遊んだりしゃべったりする親しい人
4.ある事を好んで楽しんでいる人のこと。類義語はマニア、ファン
5.お互いの心と心で通じ合うこと。(四字熟語)
6.えんどう豆等のマメ科植物の種子を包んでいる殻
8.えびで○○をつる
10.おせち料理の定番である卵料理
12.個人や家族が生活していく際の収入と支出の状況
14.草花や樹木が分泌する甘い汁
15.金銭を収める入れ物
16.焚火やキャンプで必要な燃料
18.初夢で見ると縁起が良いとされる第二位
22.左はレフト、右は○○○

応募方法

クロスワード正解者の中から抽選で5名様に素敵な商品をプレゼント！

官製はがきに、①答え　②氏名　③住所　④電話番号　⑤風だよりの感想を書いて下記までお送りください。

締切:令和5年1月27日（金）消印有効

〒809-0018　中間市通谷1丁目36番10号
中間市社会福祉協議会 宛

103号「クロスワード」答え

答えは「 あかいはね 」でした！

シ	ャ	キ	ョ	ウ	■	ア A	イ
ュ	■	ヨ	■	ン	■	ク	チ
ワ	ラ	ウ	カ	ド	ニ	ハ D	■
■	イ C	ド	■	ウ	ス	■	ア
コ	ト	ウ	■	カ B	■	サ	カ
ス	■	ボ	タ	イ	■	イ	ネ E
モ	ッ	キ	ン	■	イ	■	イ
ス	■	ン	■	マ	ゴ	コ	ロ

正解者の中から抽選で５名の方に、柴田農園様の「農家のお米３kg」を発送させていただきました。たくさんのご応募ありがとうございました！

柴田農園様の紹介

化学肥料と農薬の使用を極力抑えた、安心・安全な農家のお米を作っています。

〈住所〉中間市中底井野473
〈電話〉090-8288-9379

生産者 柴田（しばた） 功（いさお） 氏

第2回フードドライブ寄付者紹介

物品寄付（順不同）

山下　　徹　様
花山　清美　様
青木　勝弘　様
西　　智子　様
田中　耕造　様
藤澤　冬美　様
長野　幹夫　様
武藤　良子　様
匿名希望 14 名様

柴田農園　様
中間市防犯協会　様
底井野郵便局　様
中間市自治会連合会　様
中間市安心安全まちづくり課　様
森永乳業株式会社　クリニコ　様
介護老人保健施設 千寿中間　様
株式会社 西日本シティ銀行 中間支店　様
匿名希望 3 団体様

篤志寄付

有限会社　ホームタクシー 様
匿名希望 1 名様

8月1日～31日まで、食のおたがいさまプロジェクト（フードドライブ）として食品などの寄付を募りました。感謝を込めて、寄付者をご紹介します！

たくさんの温かいご厚意、
本当にありがとうございました！

第3回フードドライブにご協力いただきありがとうございました！

11 月 1 日～ 30 日までフードドライブ（食品寄付の受付）を行いました。地域の皆様の温かい支援が寄せられました。皆様からいただいた物資はフードパントリーなどの食糧支援を通じて、支援を必要とする方々へお届けさせていただきます。

中間市社会福祉協議会では、フードドライブ期間に関わらず食品等の寄付を受け付けていますので、ご協力をお願いいたします。

※寄付者は次号でご紹介します。

食のおたがいさまプロジェクト

令和４年度第２回

フードパントリー開催しました！

９月 23 日（祝・金）に、今年２回目のフードパントリーを開催しました。今回は８月のフードドライブ（食品の寄付）で、地域の皆様をはじめ市内企業・団体より寄せられた、たくさんのご寄付をもとに開催し、経済的な理由などで生活に不安を抱える 92 世帯の方々へ食糧品や生活用品をお渡ししました。

フードパントリーでは、抱えている困りごとや不安の声を聴かせていただくため、職員が声掛けをしながら配布物品を手渡ししています。自立相談支援事業所である市民生活相談センターにもご協力いただき、今回も出張相談室を設け、困りごとを解決するための第一歩となる「相談」へ繋ぎました。相談をためらわれていた方も、出張相談室から出てくる時には、少しほっとした表情をされていたのが印象的でした。

生活上の困りごとは、年齢層や生活スタイルなど個人差はありますが、誰にでも起こりうることです。新型コロナウイルス感染拡大を契機に、社会環境が大きく変わり、私たちの生活スタイルも変わりました。そのような中、食べ盛りのお子さんがいる子育て世帯、ひとり親世帯、独居の高齢世帯などにとって、歯止めのかからない物価や光熱費の上昇は、個人の努力では解決が難しく、生活を圧迫していることを実感しました。

フードパントリーを通して、誰もが直面する可能性がある生活課題の解決に必要なのは、地域の力だと改めて感じました。フードドライブでは、多数のご厚意を寄せてくださった地域の皆様や企業・団体、ポスター掲示で周知に協力してくださった自治会連合会、フードパントリー開催の周知に協力してくださった民生委員の皆様、関係機関、地域の企業・団体、多くの地域の力があり食のおたがいさまプロジェクトは実施できています。当事業にご賛同・ご協力いただきましたことに心より感謝するとともに、今後も生活課題を抱える方々への支援に取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

食のおたがいさまプロジェクト

フードパントリー（食糧支援）を開催します！

生活にお困りの世帯やひとり親世帯、アルバイトができなくなり生活に不安を抱える学生などを対象に、食糧や生活用品などを配布します。

事前の申し込みが必要です。※生活保護を受給されている方は対象になりません。

日　　時	令和４年 12 月 24 日（土）10：00～12：00
場　　所	中間市総合会館（ハピネスなかま）
申込方法	電話・窓口・QR コードから
申込締切	令和４年 12 月 23 日（金） ※定数になり次第受付終了
問合せ先	中間市社会福祉協議会　☎２４４-１２３０

全力！
社協活動えとせとら

☆ 教室の様子 ☆

中間市療育支援センター
親子ひろばリンク

親子ひろばリンクでは、ことば･こころ･からだの発達や成長に心配のある子どもたちに対し、専門スタッフが豊かな成長と発達のための療育支援を行っています。小集団でトレーニングを行うたんぽぽ教室（未就学児対象）とすずらん教室（小学生対象）もあります。そのほか医師や臨床心理士、言語聴覚士の個別相談も行っています。

☆ 季節ごとの楽しい活動もしています ☆

お子さまの発達について不安や心配のある方は、お気軽にご相談ください。

場　所　中間市岩瀬１丁目１番10号
電　話　244−0742
時　間　8:30〜17:15（土、日、祝、年末年始休み）

子育てサロン

子育てをしている保護者やそのお子さまが同じような仲間と交流できる憩いの場です。子育ての悩みや心配ごとを話したり、保護者の仲間づくりとお子さまの遊び場づくりを目的としています。

遊びに来てね♪

場　所　中間市蓮花寺３丁目１番３号
（旧子育て支援センター内）
開催日　毎週水・木・土曜日
10 時〜 15 時
対　象　０歳〜３歳までのお子さまとその保護者
利　用　無料、予約不要

頑張らず・楽しく・元気に！

～ 楽10体操®教室、盛況でした ～

10月から12月の毎週水曜日に、楽10体操®教室を開催しました。楽10体操®は、「楽々できる」「いつでも、どこでも、だれとでも」「“ええかげん”くらいがちょうどいい」、頑張らずに、楽しく、元気につながる体操です。同じ動きを10回ずつ、声を出しながらできる範囲で繰り返し、続けるうちに覚えて自宅でもできるようになります。

最初は知らない人同士でも、一緒に体操するうちにだんだん打ち解けて、声を掛け合ったり、おしゃべりしたり。とにかく家から一歩外に出て、足を使う、人と関わる、会話をする、笑う、喜ぶ、そんな時間を過ごしていただけたのではないでしょうか。

こんな体操をしました！

① 椅子に座って身体ほぐし
（姿勢・歩行向上・腰痛改善の楽10）

② 脳トレ

③ 立って下半身を使いながら体操
（肩こり改善・バランス向上の楽10）

＊立って行うことがきつい方は座ったまま

④ リラックスのストレッチ

～ハピネスなかまトレーニング室～

楽10体操®教室のご案内

いつでも・どこでも・誰とでも、10種目10回ずつ。頑張らずに、楽しく、元気につながる「楽10体操」で、みんなで一緒に楽しく運動しませんか。

日　時	令和5年1月18日～3月29日までの期間中（全10回） **毎週水曜日　13:00～14:00**（3月15日はお休み）
場　所	ハピネスなかま　4階和室
定　員	各回20名
料　金	1階受付でトレーニング室利用チケット（**300円**）の購入が必要です。
申　込	電話もしくはトレーニング室へ直接お申込みください。 ※12月14日(水)から受付開始

体操教室のみの参加もOKです！くわしくはお問い合わせください。

問い合わせ先　ハピネスなかま　☎245-8686

ハピネスなかま専門相談のお知らせ　▶ 12月～2月

	12月	1月	2月	備考
心配ごと相談 15：00～17：00	16(金)	7(土)20(金)	4(土)17(金)	※要予約 1人20分
行政相談 15：00～17：00	16(金)	7(土)20(金)	4(土)17(金)	
身体障がい者福祉相談 10：00～12：00	11(日)	8(日)	12(日)	
交通事故相談 10：00～16：00		11(日)		
	※福岡県交通事故相談所に2日前までに電話で予約してください。 福岡県交通事故相談所 ☎092-643-3168			

来館時はマスク着用・手指消毒・検温実施にご協力をお願いします。新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる場合がありますので、事前に電話等でご確認ください。☎244−1230

3年ぶり！在宅介護者の集いを開催しました！

9月29日（木）、新型コロナウイルス感染拡大により平成30年度以降、実施が延期となっていた「在宅介護者のつどい」を開催しました。

まずは簡単な頭の体操でウォーミングアップを行い、慣れない動きに四苦八苦、大笑いしながらリラックスしていただきました。自己紹介を兼ねた近況報告では、日々苦労だけをしているわけではなく、介護を通してお子さんの成長を感じること、ご主人からの「ありがとう」の一言で愛情が深まることなど、介護者同士で気持ちを分かち合いました。また、自分が病気になった時や亡くなった後、介護している子どもや夫はどうなってしまうのかということが共通の心配ごととしてあがっていました。「まずは私たちが元気でいないと」と前を向き、ウォーキングやストレッチなどで日頃から気分転換を兼ねて健康に気を配り、少しでも長く介護に携われるよう努力を続けているとのことでした。最後はストレッチ体操で体をほぐし、まだまだ話足りない様子でしたが約2時間のつどいは終了しました。

今後も在宅介護に携わる方々が少しでもリラックスし、様々な情報や気持ちを共有できるよう継続して開催していきたいと思います。

寄付のお礼

みなさまからお寄せいただいた善意は、地域福祉活動のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

〔香典返し寄付金〕
9月16日～11月15日付分

故 岩本 晃一 様
岩本 さよ 様（中鶴）

故 田仲 榮子 様
田仲 圀裕 様（太賀）

故 亀石 千鶴 様
堀江 百合子 様（岩瀬西）

故 香々美 邦子 様
香々美 隆 様（中央）

故 松本 郁子 様
松本 學 様（太賀）

故 梶原 長昭 様
梶原 チヨミ 様（通谷）

〔篤志寄付金〕
田中 耕造 様

香典返し寄付金・篤志寄付金は中間市社会福祉協議会で受け付けていますので、よろしくお願いいたします。